

# 学科・コース紹介

地域科学部	地域政策学科	おもに社会科学と自然科学の協同により、自然環境を含んだ地域社会の構造的な把握と分析、そして政策形成の能力の習得を関連づける教育研究をおこない、持続可能な社会を展望しつつ、より良い地域社会の構築を提言できる人材の育成を目指します。
	地域文化学科	おもに人文科学と社会科学の協同により、人間社会における思想や文化的な表現、および歴史的な経験や行動などの規範と原理を分析し、把握する教育研究をおこない、人間社会に関する確で深い洞察力を備え、社会が抱える多様な課題の解決を展望できる人材の育成を目指します。
地域政策学科・地域文化学科	産業・まちづくりコース	地域の内発的発展と国民経済・リージョナリズム・グローバル化との実現可能な共存関係を追究するとともに、マクロ的な観点から都市と農村、商工業と金融、大企業と中小企業などの地域経済問題の解決を目指し、地域の経済基盤強化および政策立案の基礎となる専門的能力の育成・涵養を図ります。
	自治政策コース	分権時代の自治体の意思決定システムの見直し、地域計画、福祉政策とそれを支える地方行財政政策など「公共性」の再編の必要性に対し、住民参加やNPOとの協同など、意志決定・実行のプロセスにおける新たな市民的コミュニケーション関係の構築とそれを促進すべき行政サイドの方策を研究・教育し、新しい自治の担い手を育成します。
	環境政策コース	狭義の自然環境の研究・教育という旧来型スタイルを越え、人間・社会の持続的発展とセットになった環境の研究・教育を目指します。社会的環境と自然環境とを一体のものとして捉え、循環型社会の構築に必要な政策研究と教育にあたり、ユニークかつ総合的性格をもち環境保全に配慮した地域社会・地域産業構造の確立に有為な人材を育成します。
	生活・社会コース	大きく変貌を遂げようとしている地域社会がどのような特性をもったコミュニティとして活力を取り戻していけばいいのか、現在のコミュニティとそれを取り巻く歴史的・文化的制度を含めた総合的・比較的研究を踏まえ、市民諸階層の有効なコミュニケーションの再構築と市民的基礎を有した「まちづくり」を担う人材を育成します。
	人間・文化コース	コミュニティは独自の文化を継承・発展させ、常に他の社会や文化に積極的に接触し、相互に啓発し合うことで活力を生み出すという視点にたつて、グローバル化の時代に適合的な多様な文化特性の交流を通じた伝統文化の再生と新しい文化創造の可能性を研究・教育し、地域文化の創造的担い手を育成します。
	国際教養コース (平成28年度より開設)	グローバル社会において求められる幅広い教養と自文化・異文化への理解力を身につけるために、日本人学生については海外留学を必修とし、また外国人学生については集中的な学習によって日本語・日本文化への理解を深め、グローバルな学識を養います。